

西南学院中との交流

12月2日（月）の5・6時間目に本校で西南学院中学校との交流学习を行いました。交流学习は、生徒一人一人が言葉やコミュニケーションなどに関する課題を理解し、よりよいコミュニケーションに向けて自ら考えたり、工夫して実践したりする力を身に付けることを目標に、年2回実施しています。

事前学習では、学年ごとに行うゲームのルール説明や進行の仕方などについて、どのようにすれば相手に伝えたいことを正確に伝えることができるのかを話し合いました。

その中で、「言葉だけでは伝わりにくい」、「スライドを使って説明しよう」、「実際にロールプレイをしてみよう」など、相手に伝えるための方法を考えることができました。

交流では、まずお互いの自己紹介を行いました。普段は、手話で名前を表現している生徒も指文字を使ってみたり、いつもよりゆっくり表現してみたり、発音をはっきりするように意識してみたりと相手に応じて表現の仕方を工夫して伝えることができました。



自己紹介をしている様子



ゲームの説明をしている様子

次に、各学年が用意したゲームやクイズで交流をしました。

ゲームでは、音声以外の方法で、コミュニケーションをとるナンバーコールや並び替えゲームをしました。本校の生徒がジェスチャーなどを使って、西南学院中の生徒に伝えようとする姿が印象的でした。

クイズでは、補聴器の乾燥機や馬蹄形の机の配置、手話など、一般の中学校にはない本校の特徴を理解してもらうことをテーマに自分達で問題を作りました。西南学院中の生徒は「そんなものがあるんだ」など自分たちの学校との違いに驚いていました。

今回の交流を通して、自分の伝えたいことを正確に伝えるためにはどうしたらよいかを改めて考えることができました。